

ビジネスコンテスト 東北最終選考会

東北医工(盛岡)が最高賞

【仙台支社】デジタルテクノロジーを活用したサービ
ンテスト「クロステック



最優秀賞に輝いた東北医工の大関一陽代表取締役(手前中央)

イノベーション2022」の東北地区最終選考会は29日、仙台市内で開かれ、盛岡市の東北医工(大関一陽代表取締役)が最優秀賞に輝いた。

最終選考会では1次、2次選考を経た9社が発表した。東北医工は、脳卒中患者の手指の機能回復に着目した医療機器としてのリハビリロボットの開発と販売について紹介。簡易な装置で患者が使いやすい設計にした点が高く評価された。

大関代表取締役は「10年

間で医療機器として成立する直前まで来てこれまでの苦労が報われた気がする。一層精進し、脳卒中で苦しむ人たちの助けになりたい」と喜びをかみしめた。

本県からは、岩手インフォメーション・テクノロジー(滝沢市)、おやまケアサービス(一関市)も出場した。コンテストは岩手銀行など全国の地銀5行が主催。東北医工は優秀賞のオナー(仙台市)とグランプリファイナル(来年1月、東京)に進む。